

<p>(問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校評価書の成果と課題が適切かどうか。 ・成果と課題を踏まえた今後の改善策・向上策が適切か。 ・その他
<p>(意見を聞いた方)</p> <p>福井県立大学教授、就労継続支援A型事業所長、一般社団法人代表理事、福井東特別支援学校PTA会長</p>
<p>1 教育課程・学習指導、研究研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・充実していると思う。好きなことを題材にすると積極的になり、生徒が楽しみながら活動できる。テーマに好きなこと・興味のあることを取り入れるとよい。 ・本校は多様な生徒がいるのでどこに焦点を当てるのか、個別活動も集団活動も必要など難しいが工夫して活動をしている。 ・多様な生徒がいることがインクルーシブ教育に活用できるので、そこを活用するとよい。 ・研究、研修、体験等の機会は多いに越したことはないが、教員の方々の負荷が懸念される。一人一人の児童生徒について考える、関わる時間等々とのバランスが大事。
<p>2 家庭・地域との連携、進路指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所説明会に参加したが、充実した話し合いができたと思う。次年度以降も継続していきたい。参加者からは、グループホームへの関心が高いと感じる。「働く」に加えて「くらし」にも関心がでてきた。総合的に将来を見据えるのなら、進路指導に「くらし」の観点も入れるとよい。 ・それぞれの特性に合わせた先を見据えた教育、生活支援も含めた教育をすることで、保護者も将来に対して見通しが持てる。 ・(年金など)福祉は申請しなければ知らないままになってしまう。今年の障がい者年金についての勉強会がいいと思う。福祉について学ぶことが、特別支援学校の教員にも求められている。 ・今年度開催された進路研修会の内容はよいと思う。 ・「夢かなタイム」(キャリア教育)の取組は、今後も継続、改善していくことでますます定着していくと思う。 ・前籍校や地域性にとらわれず、全く関係のない学校とも新しい出会いや学びの機会を得るために積極的に関わってほしい。
<p>3 安心・安全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業所でも能登半島地震を受けて防災について話し合ったが、防災用品を全てそろえることは難しいので、水と電気だけはそろえようというようになった。学校も同様に、防災用品はテーマを絞ってそろえてはどうか。本人の了解の元、スマホの位置情報の登録をしておいてもよいのではないか。 ・障害を持っていることを近所の人に知られることが嫌だと言うことで、支援の必要な人と開示していない場合が多く、災害時に困ることになると思う。SOSが言えることは大切。 ・避難時の生活を考えると、宿泊や避難所になる体育館での生活なども体験しておくことで、障害がある人は受け入れやすく、支援者はどのような支援が必要なのか分かる。体験していると安定して過ごせる。近くにいる人が(教わらなくても、説明がなくても、)支援者となれるとよい。 ・医療的ケアが必要な児童生徒が不安を感じる場面が多いと思うので、ニーズによって柔軟な対応が求められると思う。
<p>4 生徒指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販売会などは、教員の負担が大きくなる可能性がある。現在あるものを合併させるとよい。来年度は、9月のワークフェアと就職説明会を同日にするので、是非、参加してほしい。 ・成果指標のパーセンテージについて低かった内容は、工夫改善に取り組んだが手応えがない結果だったのか、原因を教員同士で助言し合ったり、他方からアイデアを得たりしてほしい。 ・次年度も、学校祭やバザーの開催が一層活気あふれる開催となることを願う。また、保護者がより参加しやすいような工夫をしてほしい。教員の負担が減らせるような配慮を忘れず、目的を明確にした取り組みをしてほしい。
<p>5 教育支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉でも医療的ケア研修を受けると加算されるようになったが、本事業所では実例がないのでできない現状である。医療的ケア対象者はいないけれど、学ぶ機会はほしい。 ・学校から、福祉、ハローワーク、医療に「はばたき」「つなぐ」などを配付したり、教職員の研修に参加させてもらえたりするとよい。情報が共有できるとよい。 ・坂井市がオンデマンド交通を初めて、本事業所でも利用している。移動手段の紹介もすると、すむ場所や働く場所の選択肢が広がる。 ・SOSの出し方講習会は良い取り組みだと思う。 ・「医療と福祉と教育の共通理解」は特色として挙げられており、今一度明確なものにし、どのようなアプローチが必要か検討できるとよい。 ・センター的機能の中で、教育相談だよりの配布先を広げてほしい。まだ相談できていない(不登校など)人に対して踏み込むようなアプローチをしてほしい。
<p>ご意見(学校関係者評価を踏まえた今後について等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員は十分に取り組み、それは保護者も理解している。今後もより一層、改善し取り組んでほしい。 ・すべての項目において、保護者の評価や満足度が高いことは素晴らしい成果と思う。 ・人権については、自分たちがよかれと思ってしていることが、児童生徒の権利に抵触していないか考える必要がある。 ・坂井市のオンデマンド交通など電車やバス以外の新たな移動手段についても触れていくとよい。